

## 1. 代ゼミ入学期編

- ① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふう勉強していましたか？また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

膨大な暗記量を必要とする科目という印象で厄介な存在でした。高校時代は授業を聞く以外ではテスト前に先生から「ここは絶対出すから絶対やれ」と言われたところを徹夜で詰め込むくらいの勉強くらいしかしたことはありません。もちろん苦手でした。

☆ 大堀のコメント:そうですね。生物は暗記科目で、その量も膨大ですよ。でも暗記だけじゃダメなんですよ。特に国立大学医学部受験では特にそう。

- ② まわりの友人たちなどはどんなふう勉強していましたか？

周りの人は授業のノートをきっちりまとめたりセミナーをやったりしていたように思います。大変そうでした。

☆ 大堀のコメント:う～ん、セミナーってよく使われていますね(^\_^;) あっ、セミナーがダメということじゃないですよ。セミナーでもリードαでもいいんです(大堀はリードαを使いました)でも、それだけじゃダメということなんです。取り込んだ知識を使う練習も必要ということです。大堀の講義ではその練習をするのです。

- ③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

国立大の医学部です。

☆大堀のコメント:来た～、国立医学部～♪ がんばれ～！！

#### ④なぜ代ゼミを選んだのですか？

地元の塾で映像授業を受けたことがあって、その縁で決めました。

★大堀のコメント: そうそう、こんなふうには塾で、予備校で、学校で代ゼミの映像講義を受講できる状態だったら是非一度受けてみてください。きっと代ゼミの良さがわかります。(^.^)/

#### ⑤なぜ大堀の生物を選んだのですか？

生物の一番手の先生だからです。

★大堀のコメント: ありがとう。でも代ゼミには大堀以外にも実力派生物講師がたくさんいますかね。

#### ⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

板書もお話も受け入れやすくわかりやすくて安心しました。扇子の音には最初から最後まで毎回びっくりしていました。

★大堀のコメント: あはは、扇子ね・・・眠くならなくていいでしょう？(^\_^;) )

#### ⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

元々文系で未習の範囲があったので、先生に相談に行き指示を頂き、なるべく早く全範囲を「見たことがある」「聞いたことがある」と思える程度には触れておくようにしていました。授業の予復習はしていませんでした。

★大堀のコメント: とてもいいですね。まずは早期に生物の全体像を捉える。そして次に細かく見ていく。さらにいいのは生物の予習・復習はしないということ。その分英語と数学に時間を割こう！！

## 2. 1学期編

### ① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

生物を得意科目にしようと呼びかけるのではなく、志望校に受かるための方法をトータルにコーディネートする視点にも立って生物を合格ラインに持っていくための授業を展開しているのが印象的でした。この先生は間違いないだろうと大変心強く思っていました。

☆大堀のコメント: そうそう。「生物は得意だけれど英数はダメ」という学生は絶対に合格しません。逆に「生物はダメだけれど、英数はできる」という学生の方が合格する可能性が圧倒的に高いです。なぜなら英数の方が配点が高いし、仕上げるのに時間がかかるから。だから大堀は「生物を得意にしろ」とは言いません。生物は「足を引っ張らない程度」でいいのです。その分英数をやるのです。ただし、みなさん、医学部受験では英数は当然、生物もある程度得意にしなければなりませんよ。

### ② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

継続して未習範囲のキャッチアップを隙間の時間に少しずつやっていました。授業の予復習はしませんでした。ただ、ハイレベルの2コマ続く間の休み時間は1コマ目の復習と2コマ目の予習に充てていました。

☆大堀のコメント: 偉い！！ やはり国立大の医学部に合格する学生は違いますね。生物は家に帰ってからの勉強時間でやるのではなく、こうした休み時間・通学の電車内などの隙間時間を利用してやるものです。時間の使い方がうまいし、そうした時間でも休まないでちゃんと勉強するのが偉い！！

### ③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

足を引っ張る側の科目には違いなかったです。記述で50台、マークで60台。

☆大堀のコメント: いいんです。この時期はこれで。今は英数の偏差値を上げることに集中しよう！！

### 3. 夏期編

① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

「大堀求の生物(呼吸・同化・神経・腎臓)」「大堀求の生物(植生・個体群・進化・系統分類)」の2講座を受講しました。1学期の終わりの授業で先生が夏期講座の内容と学習計画のモデルを説明してくださった時に2学期のハイレベルの予習として活用できるものだと言われたのでそのつもりで受講を決意し、そのように活用しました。

☆大堀のコメント:夏期講習会講座「大堀求の生物(呼吸・同化・神経・腎臓)」「大堀求の生物(植生・個体群・進化・系統分類)」は、主に代ゼミ2学期の独学しにくい分野を学習する講座です。これら苦手分野を夏の間マスターしておけば、2学期以降の学習がとても楽になります。夏の間生物全範囲を片付けてしまい、2学期の大堀の講義は復習として受講すればいい

のです。こうすることで、2学期も英数に集中することができるのです。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

1学期の復習は後回しでした。夏期の受講講座を通して受験生物の全体像を捉えられるようにすることに努めました。

☆大堀のコメント:そうそう、まずは全体像を捉えましょう。全体像を捉えた後の方が1学期の復習効果も上がるのです。

③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

記述が60台に乗り始めました。マークは依然 60 台。

☆大堀のコメント:来た～、記述模試の偏差値60越え～♪

## 4. 2学期編

### ① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

夏期講習に突入する際に計画していたように、受験生物の全体像を捉えた状態には達することができ、二学期のハイレベルは復習、粗さがし、といった位置づけで受講できることになりました。

☆大堀のコメント:よ～し、いい調子だ。夏の間頑張りで、2学期の大堀の生物は復習で聞くような状態になるようにしておかないと、医学部は合格できません。

### ② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうでしたか？

授業にはなるべく毎回1学期のノートを持ち歩くようにして、少しでも不安が見つかったらその場で確認するようにしていました。

☆大堀のコメント:う～ん、素晴らしい。そのノートは大学生になっても使えるからね(^\_-)

### ③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

ハイレベルの授業の直前の休み時間に「予習」として復習しました。

☆大堀のコメント:これまた素晴らしい。「休み時間に」というのがさらにいい。

#### ④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？どのようなことをしましたか？

2学期中は模試の見直し以外ではほとんどセンターに触れませんでした。2学期が終わって初めて本格的に取り掛かりました。国語理科社会は2学期終わってすぐ、数学はクリスマスくらい、英語は年明けからやりました。

☆大堀のコメント:「センター試験の勉強はいつくらいから始めたらいいですか？」という質問を受けませんが、それは人それぞれでしょう。普段の模試で9割は安定していとれるのであれば12月の下旬くらいからでもいいし、そうでなければそうでないほど早めに始めた方がいい。特にセンター試験模試がいつもマイチで、かつセンターの配点がめっちゃくちゃ高い大学を受験する学生は、一年間センター試験の勉強だけしてもいいくらいですよ、はい。

#### ⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などはありましたか？

最後の記述模試で生物偏差値72.0がとれました。センター模試は伸び悩みましたが、やってきたことに間違いは無いと思っていたし不安はなかったです。ハイレベルで習ったはずのことをベースにして直前の直前まで追い込めば85点くらいは死守できるという変な自信がありました。(結果として素点87点、得点調整で91点でした。)

☆大堀のコメント:来た～、記述模試偏差値70越え～\(^.^)/ うん、大堀の講義に「おっ、これだ！！」っていう手応えを感じていたのならそれは「変な自信」ではないぞ。この大堀も浪人生の1学期に数学で「おっ、来たな！！」っていうのを感じたね。なので1学期の偏差値は40台だったけど全然気にしなかった。案の定、2学期に入って一気に60代の後半まで行ってしまった。

## 5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

センター後の講座は私大の受験の前に受講するつもりだったのですが、インフルエンザになってしまい受けられませんでした。

★大堀のコメント: おっ、受験日にインフルエンザにかからなくてよかったね、(^。^)/こんなふうにも何でも都合のいいようにとれるようになったら人生は無敵だ!!!

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

基本的には、問題を解いて見つけた穴に対して知識と理解をまとめなおすという作業の中で復習していました。

★大堀のコメント: うん、いい復習のしかただね。だいぶ仕上がってきたのがわかるね。

④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

センタープレで1社は8割に乗せられました。乗らなかったところでも、偏差値的にはそれなりだったので特に真に受けず切り替えました。

★大堀のコメント: 精神的にも強いね。いい調子だ。

## ⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

新課程の傾向を探るためセンター形式のマーク問題集をひたすら解いていました。化学と一緒に解いて、間違ったところと再確認したいところについて、メモができる大きな付箋にハイレベルのノートをベースにまとめなおしたメモを書いて該当ページに貼っておき、休憩時間などに付箋を開いて問題を見直すというスタイルでやりました。各予備校のを2冊ずつ買って2周しました。年明けにはZ会で同じことをしました。過去問も新課程の範囲を出していた時期のやつを4～5年分くらいはやりました。生物はお風呂に浸かりながらとかベッドに入ってからとか机が要らない場所でもできるのでよくやりました。

★大堀のコメント:う～ん、やっぱり時間の使い方がいいね。隙間をちゃんと利用できている。与えられた時間は全員平等。それをどうやって配分するか、ということだね。うまい！！

## 6. 直前期編

### ① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

過去問演習で粗さがしをして一つずつ穴を埋めていくというスタイルでした。そうですね。もう過去問の演習を始めていいね。過去問は2回解く。まずは受験勉強を始める時期に解く。これは自分が合格したい大学がどんな問題を出すのか？そして自分はそのレベルに達しているのか？達していない場合はどのくらい離れているのかなどなどを確認するために解く。そしてこの直前期にも解く。これは練習だ。時間通りに、そして受験日の時間割通りにやってみるものいい。

### ② 何大学の何学部を受験しましたか？

新潟大学医学部医学科です。

★大堀のコメント:よっし、頑張れ～！！

### ③ 受験の前日・当日にやったことは？

前日はホテルについてからしばらくは添削してもらった過去問の自分の答案を見返していました。夜は家族と電話をし、好きな人に愛を語り、早めに寝ました。当日は最後の最後まで化学と生物の知識の詰め直しをしました。

★大堀のコメント:いいね、家族と電話して、好きな人に愛を語るなんて(^。^) 前日はとにかくリラックスすることに努めよう。でも、これは直前になってどうすればリラックスするかって考えるのではなく、普段から自分はどういうことをするとリラックスできるかを探しておこう。この大堀はもちろん筋トレだ(^\_-)

## 7. その他

### ① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

センターの自己採点結果をみてから担任の先生方と相談して出願締め切り直前に決めました。

☆大堀のコメント: よっし、一度決めたらそれに向かって全力投球だ！！

### ② スランプになった時期はありますか？またそれをどういうふうに克服しましたか？

元々やるべきことが多すぎたので成績的なスランプを感じる暇は無かったのですが、どうも座ってばかりで肩がこる、頭が重いという時などは夜に小一時間走りに行って思いっきり身体を追い込んでくたくたになって寝る、ということが一番効果的でした。直前期でも週に1～2回は走りに行っていました。1度走りに行くと、ウォームアップやクールダウンやシャワーを含めると2～3時間は奪われますが、翌日以降の学習効率は間違いなく上がったし結果的に勉強量に関してはその間自習し続けていた場合と比べてトントンかおつりが来ていたと思います。元運動部の人にはお勧めです。

☆大堀のコメント: 筋トレやジョギングなど、体を動かすと頭もすっきりして勉強がはかどるし夜もよく眠れるよね～。筋トレの時間があったいな感じもするけれど、受験全体で考えたとき、体はやはり動かしたほうがいい。人間は脳みそだけの存在ではないのだ。

### ③ ストレス解消法などありましたか？

上に同じです。

## 8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？

### それから後輩たちへの応援メッセージなど

大学の教養の生物でも役立っています。基礎医学系の講義が始まればまた役立つ機会があると思います。受講される皆さんには、ぜひライブで前列に座ることをお勧めします。大堀先生は前の方の生徒をあてて下さいますが、そこで何は答えられて、何は答えられなかったのか、あてられた生徒は身染みて覚えていられます。それらの問いかけは生物受験においては絶対に外せない知識を問うものばかりですし、大切なことほど時期をおいて何度もきいてくださるので、そのつもりで臨むことで得られるものがかなり多くなると思います。英語と数学を死ぬ気で頑張って、生物は大堀先生についていけば間違いないです。頑張ってください。

★大堀のコメント: 学生をあてるのは、ただ知識を仕入れようとするのではなく、考えるクセをつけてほしいから。「この問題は、この知識を持っていなかったからできなくでもしかたない」というのは受験ではただの負け。その知識を持っていなくても、自分が持っている知識を駆使してその知識を作り出すクセを付けてもらうためにあてるのです。それからあてたほうが眠くならないし、それにたまにとぼけたことを発表してくれる学生がいて楽しいよね(^o^)

さあ、第一志望に合格したいという君、来年は君が大堀の講義の最前列に座る番だ！！